

# 優しい風の吹く街



兵庫県議会からの不信任決議を受けて9月30日に知事が失職しました。公益通報者保護法違反は百条委員会でもまだ明らかになっていませんが、今回の問題にかかわって県職員がお亡くなりになったことは痛恨の極みです。11月の兵庫県知事選挙に注目し、県民の選挙に対する意識向上と投票率アップに期待しています。宝塚市議会でもハラスメント行為の発生を防止する方策を定めようと、市議会議員も含め市特別職・市職員へのアンケート実施を決めました。あらゆるハラスメントを撲滅し、お互いが敬意を払い安心して働くことのできる「宝塚市」をめざします。

## 活動報告

### <7月>

- 11日 自治功労者会総会
- 13日 宝塚市議会70周年記念シンポジウム  
「ガラスの天井 その先へ」
- 20日 連合東部地域フォーラム
- 28日 議会報告会
- 29・30日  
文教生活常任委員会行政視察  
東京都足立区・中学生学習支援&居場所事業  
埼玉県吉川市・学校施設複合化事業

### <8月>

- 2日 母と女性教職員の会全国集会
- 3日 両性の自立と平等をめざす教育研究集会
- 6・9・15日  
平和の鐘イベント
- 20日 平和モニュメント「火の鳥」  
30周年タイムカプセル開封セレモニー

- 21日 香害をなくす議員の会定例会
- 23日 宝塚市教育研究集会
- 25日 教育文化社会貢献事業推進委員会

### <9月>

- 2日～10月8日 9月議会定例会



大阪・関西万博会場視察





## 1 学校に行きづらい子どもの支援と 多様な学びの場・居場所の整備について

### <質問1>

アシストルームの不登校児童生徒支援員の配置状況は。配置されていない学校への対策は。

### <教育長答弁>

本市では中学校全校に別室登校指導員を配置してきた。小学校では昨年度から研究校2校に別室登校指導員を配置し、今年度からはアシストスタッフを新たに小学校20校に配置している。未配置となっている西谷小学校は、併設している西谷中学校の「別室」を活用することとしている。

### <質問2>

アシストルームの環境整備は進んでいるのか。

### <教育長答弁>

以前から「別室」対応していた中学校や研究校の好事例を参考に環境整備に努めている。小さな部屋であっても快適な空間になるよう各校で工夫している。

### <質問3>

支援員は週3日か週2日の配置であり、残りの日を教職員による運営を考えている学校もある。週5日の配置になるように県や国に対して働きかけ、市でできるバックアップも考えるべきではないか。

### <教育長答弁>

中学校では別室登校指導員の勤務日以外の「別室」の運営は担当教員と連携・協力して対応している。別室登校指導員（アシストスタッフ含む）の週5日配置に向けて県や国に要望を行い、児童生徒の多様なニーズへの対応や、教職員の負担軽減に努めていく。

### <質問4>

教育支援センター「Pal たからづか」と「CoCo たからづか」の現状は。

### <教育長答弁>

Pal たからづかとCoCo たからづかでは、小中学校の不登校児童生徒が8月末時点で22人在籍している。

指導員は子どもたちに寄り添い、子ども自身が問題に向き合う姿を見守り、個に応じた支援に取り組んでいる。

### <質問5>

多様な学びの場所として「フリースクール」を選択する子どもの現状は。保護者の経済的負担過多はないか。

### <教育長答弁>

本市では不登校児童生徒の約0.5%に当たる17人がフリースクールを選択している。経済負担が伴うことも考えられることから、各小中学校における別室や、教育支援センターで要望に応えられるよう取り組む。フリースクールとの連携も行う。

### <2次質問-1>

すべての子どもの学習権を保障する学校を作ることが求められている。居心地の良い学校に変えるには。

### <学校教育部長答弁>

学校では、多様性を尊重しつつ、子どもたちが主体的に学べる環境を整えることも求められている。そのため教職員に加えて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど専門的な職員とも力を合わせ「チーム学校」として、子どもたちが学ぶことの楽しさを感じ、居心地のよい学校となるように努めていく。





## 2 人工透析患者やオストメイトの方々の社会不安の解消に向けて

### <質問1>

人工透析患者の医療負担過多とならないように、重度障害者医療費助成事業を継続していけるのか。

### <市長答弁>

県は、医療費における経済負担を軽減し、引き続き事業の安定運営を図っていくことを示している。

### <質問2>

人工透析患者の災害避難計画は。

### <市長答弁>

人工透析患者の災害避難計画整備については、厚生労働省通知に基づいて、県とも十分連携を図り対応する。さらに、災害情報ネットワークにて、受け入れ可能な医療機関の情報を得る仕組みを活用する。

### <質問3>

市役所のオストメイト対応トイレの現状は。

### <市長答弁>

本庁舎に2カ所、第二庁舎に3カ所設置。

### <質問4>

ストーマ装具代金の負担は年々重くなっている。「給付金基準額の増額」はできないか。

### <市長答弁>

ストーマ用装具について支給金の見直しを行っていなかった。今後、物価高騰や新製品による定価の上昇の実態を把握し、近隣市の動向も踏まえ見直しを行う。

### <質問5>

災害時の避難所などにおけるオストメイト対応トイレや、ストーマ装具の備蓄などの対策はできているか。

### <市長答弁>

指定避難所のうち市立小・中学校においては、改修工事の際にオストメイト対応トイレに改修している。現時点では、ストーマ装具の備蓄はなし。能登半島地震の際にはストーマ用品セーフティーネット連絡会が無償提供。支援が行き届くように情報提供に努める。

### <2次質問-1>

災害時に医療機関や福祉避難所に優先的に水を供給するための水の確保はできているのか。

### <上下水道局長答弁>

優先供給できるよう確保できている。

### <2次質問-2>

オストメイトの方々は、自身でのストーマ装具の交換ができなくなる事態を心配し不安に感じておられる。市立病院におけるストーマケアの研修の現状は。

### <市立病院経営統括部長答弁>

認可看護師による院内研修を行っている。

## 北野さと子の意見

「オーバーナイト透析」を受けながら仕事を続けていきたいと願っている人工透析患者さんがおられる。しかし、実施病院は限られているので、市で相談を受け受診医療機関を紹介するなど、サポートしてほしい。



### 3 公立保育所について

#### <質問1>

地域の子育ての核である公立保育所が果たす役割は。

#### <市長答弁>

保育の質を高めるために市独自の職員配置基準を示し、保育所運営に必要な各種マニュアルなどを作成し、私立保育所と共有している。また、子育て支援拠点として役割などを担うことが求められている。これまでより公立と私立で協調しながら保育を実践してきており、保育企画課や幼児教育センターが主催する研修のほか、公立保育所が企画し、実践する研修に私立保育所の参加を呼びかけている。今後も連携を図りながら、より良い保育実践のために取組を進める。

#### <質問2>

正規保育士の定員配置維持はできているか。

#### <市長答弁>

本年度4月時点で、公立保育所7カ所に、所長7人、係長12人など計131人の保育士を配置し、正規保育士の欠員は生じていない。

#### <質問3>

特別支援担当保育士の配置状況は十分なのか。

#### <市長答弁>

公立保育所では64人の児童に対し39人の加配保育士を配置している。

#### <質問4>

医療的ケアの必要な子どもをはじめとして、健康安全管理のため保健師や看護師を配置できないか。

#### <市長答弁>

昨年度から公立保育所1カ所で医療的ケア児を受け入れ、看護師を配置して児童の日々のケアを行っている。日常の健康管理については、保育企画課に保健師2人を配置して対応している。

#### <質問5>

国が提唱している「こども誰でも通園制度」を市としてどのように進めていくのか。

#### <市長答弁>

この制度は保護者の孤立感、不安感の解消につながることを期待されている。アレルギーなど子どもの安全を確保するために必要不可欠な情報を保護者と施設が共有できるシステムが、国において整備される予定。本市においては、認可保育所は充足率が高く、特に1歳児や2歳児については、空き定員が少ないため、利用定員の確保が課題となる。

## 風のこころ

宝塚市の中学校では、以前から教室に入りづらい生徒のための別室を設置し、教員免許をもった別室登校指導員を配置してきた。この流れを取り入れつつ、全校配置と日数の拡充をめざしたい。

### 三重カトピックス



9/20  
fri

『世界気候アクション』ストップ気候危機  
持田・寺本・梶川・北野・川口・大島・田中議員